

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

3月ダイヤ改京葉線 朝夕快速を全廃 沿線で怒りの声

「通勤通学に影響」「保育園に間に合わない」

京葉線で朝夕の快速全廃

	現行	→	改定
平日	59本	始発～9時台	廃止!
		10～15時台	24本
土日	89本	16時台～終電	廃止!
		始発～9時台	廃止!
		10～15時台	47本
		16時台～終電	廃止!



しかし、JRは地元の住民の声も聞かず、
まともに話し合うこともなく、一方的に「快速全廃」を打ち出しました。あまりにも傲慢なやり方です。

あまりにも傲慢なやり方

3月ダイヤ改が発表され、京葉線の日中帯を除く快速線全廃に沿線自治体・住民から怒りの声があがっています。
東京―蘇我間の所要時間は朝は14分、夕夜間帯で19分ほど増えます。通勤や通学、保育園への送りなど生活に直結する重大な問題です。

ともに「反対」の声あげよう

こうしたあたり方は、職場でも同じです。鉄道の現業部門で働く者をないがしろにして、融合化やジョブローテーションなどをさらに進めようとしています。この攻撃に立ち向かう力は、職場の団結と闘う労働組合です。
地域の怒りとともに3月ダイヤ改・運輸区廃止・融合化攻撃に反対の声をあげよう。

沿線住民・自治体から怒りの声

- 神谷俊一千葉市長：「極端な変更で、市民生活を支える広域交通の在り方としてとても容認できない」「特に房総や千葉市から東京への通勤通学、幕張新都心へのアクセス等に相当な影響がある」「自治体が子育てと仕事が両立する環境をつくろうとしている中、その根底を揺るがす」
- 利用する住民からは「保育園の送迎が間に合わなくなる」といった声が400件以上寄せられている。
- 熊谷俊人知事：「沿線住民や事業者にとってマイナス。容認できない。JRに強い形で申し入れを行いたい」